

## 「問い合わせ立てる①」教員指導案

- (1) 目標 : ・研究対象を選択させる。  
 ・先行研究の調べ方を理解させる。  
 ・自分の研究対象に関する先行研究をリストアップさせる。

- (2) 教材 : ①「生徒配布資料」(A3片面 各自1枚)  
 ②「ワークシート① 研究対象の発想・選択」(A4両面 各自1枚)  
 ③(参考資料)学びの技〔マインドマップの書き方〕  
 ④(参考資料)「文科系」学生のレポート・卒論術  
 ⑤(参考資料)これから研究を始める高校生と指導教員のために  
 ⑥(スライド資料)問い合わせ立てる前に

- (3) 持ち物 : 筆記用具、AKC ファイル、テキスト、(タブレット)  
 (4) 事前準備 : 座席表(コース別名簿を持参)※座席は担当者で指示をしてください。

(読み解説発表の班ごとに着席させる、クラスごとに着席させるなど)

## スライドの準備

- (5) 担当者・使用教室 :

教室	2-1	2-2	2-3	2-4
コース	国際	家族・ジェンダー	地域・文化	経済
担当者	○○・○○	○○・○○	○○・○○	○○・○○

- (6) 本時の指導計画

段階	学習内容	学習活動	指導上の留意点
導入 5分	本時の目標を確認する		・「生徒配布資料」「ワークシート①」を配布する。 ・本時の目標の3点を読み上げて確認する。 ・プロジェクトの準備を行う。
展開1 25分	論文における問い合わせ立てる方を確認	・研究や論文とは何かについて理解する。	・論文と調べ学習の違いや、テーマや問い合わせ立てる方について果たす役割について、スライドをもとに説明する。 ・Q3を生徒にペアやグループで考えさせ、共有をさせる。一部グループに発表せたり、前に書かせたりしてもよい。(5分程度)
展開2 10分	準備作業(マインドマップ)	・マインドマップの「手順」を確認する。 ・ワークシート①にマインドマップを作成する。	・「生徒配布資料」の「3研究対象選択のための準備作業」の「手順」を読み上げ、マインドマップの作成手順を確認する。 ・ワークシート①にマインドマップを作らせる。 ・文献や過去の資料を参照させる。
展開3 5分	研究対象の選択	・作成したマインドマップを踏まえて、研究対象を選択する。 ・ワークシート①を提出する。	・研究対象を決めさせ、それを生徒配布資料とワークシート①に記入させる。 ・ワークシート①を回収する。 ・研究対象を3つまで書かせるのは、研究がうまく行かなかったときに変更できるようにしておくためである。
終結 5分	次回の連絡	・ファイルにプリントを綴じる。	・プリントをAKC ファイルに綴じさせる。

2年\_\_\_\_\_組\_\_\_\_\_番 氏名\_\_\_\_\_

令和●年度 探究 AKC II  $\alpha$  (第 2 学年) 生徒配布資料

## 1 本時の目標

- 1 論文とはなにかについて理解する。
  - 2 テーマに基づく関心を整理する。
  - 3 研究対象を選択する。

## 2 今後の予定

\* 詳細については、今後指示あり

(※変更する場合もある。予定を見て参考文献などを探し段取りをすること)

### 3 論文とは何か

Q. 研究や論文執筆と調べ学習の違いは？

MEMO

#### 4 研究対象選択のための準備作業——マインドマップで発想

読解発表を通じて、各コースについて知識を増やし、自分の関心がどこにあるかを探ってきました。現時点での自分の持っている知識と関心を、マインドマップの手法により、一度整理して、視覚化しましょう。以下の手順で別紙ワークシート①に取り組みましょう。

##### 手順

- 1 真ん中の円に自分のテーマ（分野）名を書き入れる。
- 2 放射状に線を伸ばす。
- 3 線の上に連想する言葉を書く。
- 4 関連するキーワードを次々に書く。

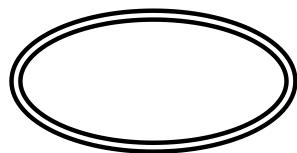
#### 5 研究対象の選択

自分が作成したマインドマップを踏まえて、自分が追究してみたいと思える対象（研究対象）を選択しましょう。地域コースで言えば、「シャッター街」や「地場産業」などそのレベルのことを言います。優先順位をつけて、三つまで選択してください。その結果を下の表および別紙ワークシート①に記入しましょう。

1	2	3
---	---	---

ワークシート① 研究対象の発想・選択

準備作業——マインドマップで発想



研究対象の選択

1	2	3
---	---	---

2年 組 番 (コース : \_\_\_\_\_)